



山下昭裕*



尼崎新一**

FAシステム機器の将来展望

Future Perspective of FA System Equipments

Akihiro Yamashita, Shinichi Amasaki

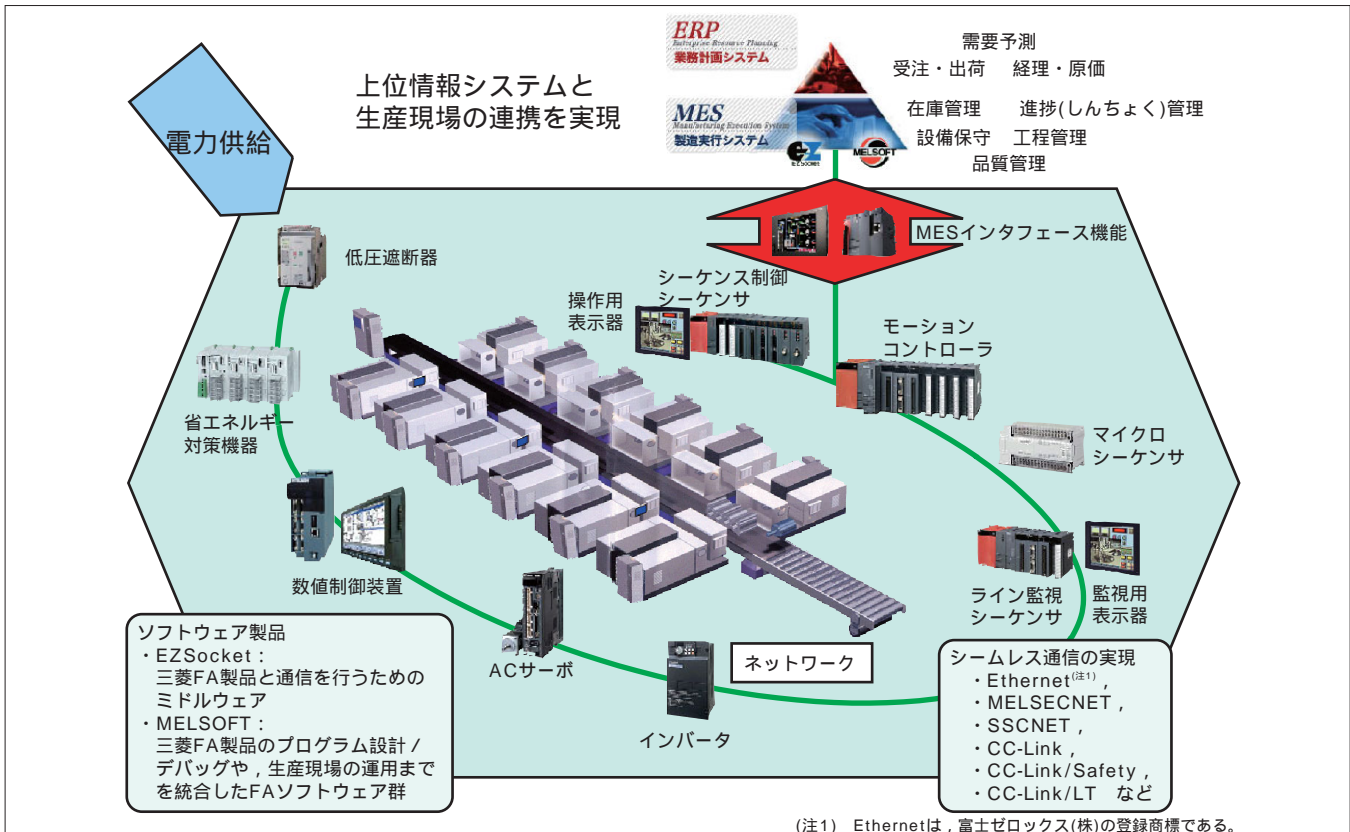
要旨

FA (Factory Automation) ビジネスは、国内外の自動車関連投資、FPD (Flat Panel Display) / 半導体関連投資等の増加により好調に推移している。しかし、市場環境は、三菱電機を含む三大FA総合メーカーが地域ごとのシェアを分け合う既存市場に加え、BRICs等新興市場の着実な立ち上がりを背景としながら、中国市場を中心とした有力メーカーによる覇権争いが一層激化する構図となっている。

市場ニーズは、製造業での熾烈(しれつ)な競争がFA機器に対しても機器単体での性能向上にとどまらず、設備・装置の企画から立ち上げ・運用・保守まで製造業におけるTCO (Total Cost of Ownership) 削減に向けたトータルソリューションサポートの要求へと変化しており、様々な機器群を提供するFA総合メーカーとして当社の真骨頂が問われている。

このような環境変化に対応するため、シーケンサでは計装 / マイコン分野 / 安全規格対応の製品開発、表示器では装置のダウンタイム短縮のためのトラブルシューティング / 操作ログ機能の開発、NC (Numerical Controller) では5軸加工 / 超高速・超精密加工 / 専用機向けのMELSECプラットフォームに搭載できるNCユニットの開発、サーボでは攻略分野(液晶・半導体、印刷・包装)対応の製品開発、汎用インバータでは省エネルギー / 駆動特性向上開発、ネットワークでは高速・大容量化開発を実施するとともに、当社機器群をトータルのサポートする統合エンジニアリング環境を開発している。

本稿では、これらの環境変化に対応した当社FAシステム機器群の技術動向を概観し、将来展望について述べる。



製造業の高付加価値化を実現する三菱電機のFA機器

上位情報システムと生産現場の連携を実現する各種FA機器の接続イメージ例を示す。